主治医氏名	
1. 血漿成分製剤の種類及 び輸注量等	
 血漿成分製剤輸注の必要性及び輸注を行わない場合の危険性等 	
3. 血漿成分製剤の輸注により起こりうる副作用等	
4. 血漿成分製剤の輸注に 当たり必要とされる感染 症検査及び患者血液の保 管	
5. その他留意点(副作用・感染症救済制度等)	

私は、現在の疾病の診療に関して、上記の説明を受け、質問する機会があり、十分に理解した上で血漿成分製剤輸注を受けることに同意しました。

(患者氏名)		印
(家族等氏名)		印
	(患者との続柄:)

※ 患者の署名がある場合には家族等の署名は不要

リハビリテーション実施計画書

患者	氏名					男·	女			年生	(茘	ŧ)	計画評	価	実施日		年	月	日
リハ	担当	医	РТ				O'	Т					SI	Γ									
原因	疾患	(発症・受傷日)							合併物	妄患・□	コン	トロ	1-	ル	伏愈	Ŕ(高血圧,	心	疾患, #	唐尿	病等	¥)	
			T 100			- /			***	H // /	,	, ,											
	□意	<u>講障害:(3-3-9:</u>	負目	頁目・内容(コロン(:)の後に具体 □							本的内容を記入) 失行・失認:												
心		知症: 枢性麻痺								□音声·発話障害(□構音障害, □失語症:種類)	
身		ージ・グレード)右上胴	右手指: 右下肢:																			,	
機能	□筋	左上) 力低下(部位,MN	左手指: 左下肢:)						□摂食機能障害: □排泄機能障害:														
構	基立	位保持(装具:	□手放し、□つかまり、□不可						□拘縮: □褥瘡:														
造	本平動訓					□独立 ,□一部介助,□非実 □独立 ,□一部介助,□非実						工性低血圧:											
	作	派主门少门(表兴)		·生活(病棟)実行状況:「l											≓lı	1 公計	時能力	, . F·	でキス"	江	垂,"	1	
		自立度	自監	i - :	全非			:				独	監	-	Λ.	4E		- :					
	A	DL·ASL等		部介	介実	使用村・	用具 装具	姿介	勢・実 助内2	行場	所等			部介	介:	実	使用用 杖•装	具見	場所(訓約	東室	•病村	東等)
	屋外		立祷	助月	b 施	1,	200	-/1	->31 34		,,	立		助	助	施	1/4		介明的	谷	等		
	病棟	小への歩行	L_ _	<u> </u>				<u>.</u> 															
		イレへの車椅子駆動 子・ベット゛間移乗	<u> </u>					<u> </u>										<u>:</u>					
	ヘ'ット'	座位保持 起き上がり						:															
活	排尿排尿	(昼) (夜)						 !										:					
動	食事整容	767		11				 ! !										:					
	更衣	サルの美品		1-1-				 										‡					
	笼具 入浴	・靴の着脱																					
	コミュ	ニケーション																- :					
	活動	度 日中臥床:□無											理由)										
		日中座位:□椅	子,[]車	椅子	-, □-	ベッド	上,	□ + '-	ヤッチア	ッフ゛												
	職美	職業 (含:主婦・学生) (職種・業種・仕事内容:) 社会参加(内容・頻度等, 発症前状況を含む。)																					
4																							
参加																							
	身長 [‡]	^{‡1} :()cn	、休	新·(,) ka	R	мI ^{#1} ·	()	ka.	/m ²	:	#1 身長涯	11字。	が困難な	-担./	×1+4	加大可	
		補給方法(複数選):[□経]食事	,	□補具	助食品	급)			_				U VE /	プロ芸芸	-900 E	114-E	1 MD)	
栄	嚥下	調整食の必要性:	□無	Æ,	□有	(学会	養, 合分類	[]-	ード:))										
養※		状態: □問題なし 題なし」以外に該当した場				, 🗆	低栄	養リ	スク,	□遊	引栄	き養	,		そ	の1	他()			
	必要:	栄養量:()kc	al,		ぱく質) g			- -)).	1º /	FF /		`				
	#2 入	取栄養量 ^{#2} (経口・ 、院直後等で不明な場合	は総	提供が	长養量	とでも可	ſ										質()	g			
		ハビリテーション病棟入り	完料1	を算定	(する	場合は	必ず記	入の	こと(本						後養	士0	の氏名も訂	2入)					
目標本人の希望								行 旨	翟														
家族								族	族の希望														
方針																							
											ハビリテーション終了の目安・時期												
* '	· \$-14	よくの説明 ケ		н	п	本人	サ ク・			<u> </u>	*	佐い	トノ	, [물쓰 더	日本小 ハ	. , [
个ノ	一水的	にくい説明 年	,	Ħ	П	华八	ソコイ	1			家	次り	/ 1.	-				元り	月者サイン	1			